

(15) 鹿嶋神社 (かしまじんじゃ)

住所 518-0215 三重県伊賀市霧生2587

TEL: 0595-52-0153

参拝日: 2013年8月21日、2014年8月31日

主祭神: 武甕槌神

祭神: 経津主命、譽田別命、火之加具土命、健甕須佐之男命、天押雲神、大山祇神



鳥居と御神木



拝殿と狛犬



本殿と山神の石柱

鹿嶋神宮と刻まれた額束を掲げた明神造りの石の鳥居をくぐると注連縄を巻いた30m以上あるスギの大木がある。境内の拝殿前にはかなり古いと思われる珍しい阿吽の社位置は大字霧生の東端にあつて南面の座、境内には千古の老樹が天を覆い、谿川横たわって四時幽邃な神域である。

狛犬が配置されている。本殿は朱色の流造りで、左右両側には朱色の小さめの社がみえる。また、社殿左手には秋葉大権現の石柱と山神と刻まれた石が10個余り並んでいた。拝殿の反対側にある階段を下りると明神造りの石の鳥居と真新しい手水舎があり、そのすぐ先には川が流れており、右に曲がると川に沿って参道があり、右側に社務所、その先には石の鳥居が見える。巨木は御神木のスギの他にケヤキやイチョウ、モミジなどがそびえており、その他カヤ、シュロ、ヤブツバキ、サザンカ、シラカシ、マンリョウ、シロダモ、ヤブニツケイ、ヒノキ、サツキ、キツタ、サカキ、アオキ、ヤツデ、サンショウ、ナンテン、イチイ、チャノキ、タブノキ、タラノキなどがみられた。

祭祀は元旦祭(元旦)、愛宕祭(1月)、八幡祭(9月)、例大祭(10月)が行われている。

由 緒

当社は往古より鹿嶋神社と号して当社地に鎮座したが、創祀については詳らかでない。『伊水溫故』では「鹿嶋宮」、『三国地誌』では「鹿嶋祠」、と記している。明治四〇年、官許を得て八幡神社、津島神社他二社及び愛宕神社1社並びに、津島神社2社、山神社1社をこの鹿嶋神社に合祀している。前記『三国地誌』の記述によれば、「按阿保ヨリ此二遷座是ヨリ夏見へ遷座ナシ玉フト云享禄元年成子ノ上杲文アリ(中言霧



手水舎

生村)」とあるが、本社位置は大字霧生の東端にあつて南面の座、境内には千古の老樹が天を覆い、谿川横だわって四時幽邃な神域である。昭和26年(1951年)に本殿が改修され、昭和46年(1971年)、拝殿が再建されて現在に至っている。「鹿嶋神社棟札」は、伊賀市の文化財(書跡・典籍・古文書)に指定されている。
(三重県神社誌 三重県神社庁)

創建年是不詳である。明治4年(1871年)、村社に列せられる。明治40年(1907年)、当地区内に在った八幡神社2社及び、愛宕神社1社並びに、津島神社2社、山神社1社を合祀した。昭和26年(1951年)、本殿が改修される。昭和46年(1971年)、拝殿が再建されて現在に至る。当社に在る「鹿嶋神社棟札」は、伊賀市の文化財(書跡・典籍・古文書)に指定されている。
(青山町史 青山町役場)



狛犬

